

元気が出る農園 “発酵生ごみ堆肥活用市民農園”

野菜づくりをやってみたいというシニアのための農園【荒木農園】【山本農園】二つの土の教室

SNK農園オープン 理事 島井新一郎

農耕民族である私たち日本人は年をとって趣味が生きがいというような生活になると自然と土が恋しくなる人は多いものです。

昨年9月に行われた久留米大学の「健康生きがいのあるまちづくりフェスタ」の作文募集に、私が「市民農園」を応募していたところ、それが幸い久留米市長賞を獲得することになりました。(その作文はHPをご覧ください)

<http://9.pro.tok2.com/~snk/simai/20080304/nouen.htm>

そこでこの私の構想の実現を久留米大学に働きかけていたところ、たまたま現在はほとんど使われていない大学の荒木研修所を農園として使ったら、という駄田井教授からの話があり、とりあえず駄田井ゼミの学生が「環境問題の実践体験」を農園作業でやりそれをSNKが支援するという形で進めることになったわけです。さらに山本農園は遊休農地の活用という、私の作文の趣旨のモデルケースとなるものとしてスタートしました。

これ等の農園はただ野菜を作るだけでなく、私たちシニアと若い学生や、子供たちとの交流の場ともなっています。多くのメンバーの参加を期待しています。

【荒木農園】 ジャガイモ：家庭菜園指南 乗富豊

～ 収穫までの農事メモ ～

2月末： 種植、施肥EMぼかしで作る堆肥と腐葉土

3月末： 発芽した数本の芽を芽欠き、2～3本とする

4月中： 堆肥と腐葉土を追肥とし土寄せを行う

5月頃： 草取りと土寄せ

梅雨前： 収穫、おおよその収穫量1株から8個見込芋の数は少なくとも大き目サイズを予定。

収穫祭： 豊穰の恵みに感謝

収穫祭は楽しい企画を考え中、皆さん提案下さい。

* 久留米大学学生による野菜作り体験

* 市内各団体との収穫交流会(秋はサツマイモ等)

(各種団体とは、介護施設や幼稚園児・保育園児、シニアの孫たち、参加できる多くの子どもたち)

(編集部) 創立10周年を迎えシニアたちは次の10年を交流の場にしたいと考えている。希望に満ちた小学生や筑後川流域経済を考える学生との交流。遊休地を農園に変えては環境を考え、子どもたちに会いに小学校を訪ねる教育支援。この年齢差の大きな交流は貴重です。(式)

耕運機で耕し種芋を植える
獅子の石造のある荒木農園



「楽しい農園」 久留米大学経済学部 添島純一

ジャガイモ作りに参加して、率直にとっても楽しいです。いちから何かを作るという経験が少ない私たちの世代にとって、とても新鮮でいい体験ができました。

何も無い土地をトラクターで耕し、ジャガイモを植えて肥料を与え…

初日は土地を耕しただけでは何も感じませんでした、植え終わった後はちゃんと畑らしくなっていて、そこで改めて自分たちの手で作ることができるのだと感じました。これからのジャガイモの成長が楽しみです。また、食の安全が叫ばれている今日ですが、もともと輸入食品に頼りすぎているのではないかと…。自分たちが口にする物を、少しでもガーデニングや家庭菜園などで楽しみながら作る。こういった意識が広まることで、これからの日本の食糧事情を変えていくのかも知れません。

(編集部注記) 添島さんの研究テーマは「筑後川流域経済」農業の将来性や筑後平野の活性化を学生(駄田井ゼミ)の目で考えています。地域経済の発展を提案ください。

まるちゃんの一コマ

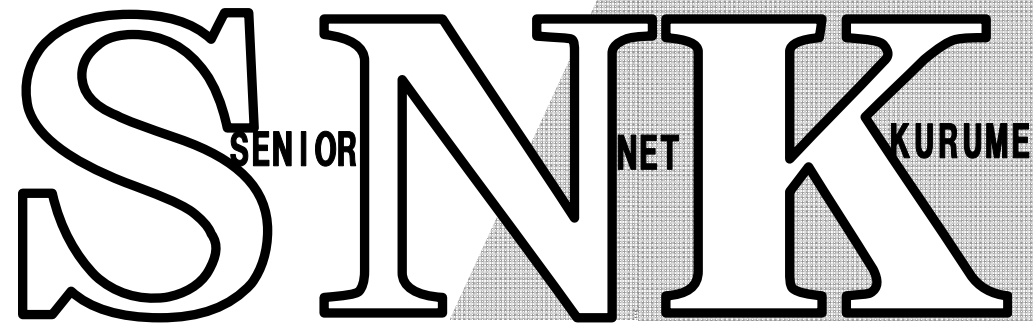
メールのルールやマナーのお話(2)

前回の続き。個人対個人のマナーについて。

これはあたりまえですが、仲の良い友達と目上の方や仕事関係の方とは、マナーが違ってきます。友達とのメールでは、普段話している言葉通りの口調で大丈夫ですね。絵文字やデコメでどんどん遊びましょう。

さて、正式などと言ったらおかしいですが、目上の方や仕事関係の方へのメールは難しいですね。自分の事ですが、上司からいつも「主語述語を使い分けて話す努力を下さい」といつも注意を受けます。

電子メールの場合、さすがに季語を入れて「〇〇の候」と言う挨拶文は入れる必要はないと思いますが、相手によるとは思います。挨拶に始まり挨拶に終わると言っても良いでしょう。(記 石橋修二)



編集・発行
NPO シニアネット久留米
広報委員会
久留米市庄島町13-1
TEL 0942-46-2277

SNK創立10周年記念事業準備委員会 SNK10周年記念事業実施事務局長 宮本秀生

1997年古賀直樹さんと初代会長島井新一郎さんの呼びかけによってさまざまな協力者が集まり、SNKを立ち上げることができました。そのなかには行政や各企業はもちろんかのマイクロソフト社も含まれておりました。SNKはさきがけとして「シニアの生きがいと仲間づくり」として各地に広がり、現在に至っておることが記念事業準備委員会のなかで島井理事より語られました。その経緯を考えると他のシニアネットと違い、記念事業は特別な意味を持っていると考えます。

成功させるキーワードは ①徹底した情報公開と全員参加を目指す ②内の和と同時に外への輪の拡がり ウェブ中継やネットによる投票システムなどのネットつながりらしい活動を模索しながらシニアのお祭りとして盛り上げていきます。決行は10月26日六角堂広場。キャッチコピーを募集中 <http://www.snk.or.jp/10anniversary/>

ふるさと探検第12弾 つばきウォーク・草野

参加者200名中SNK,SNFの繰出した人数は81名

山
里
の
ウ
ォ
ー
ク
は
ガ
イ
ド
付
き
で
樹
齢
三
百
年
の
古
木
椿
に
感
動
し
た
福
岡
と
久
留
米
の
シ
ニ
ア
集
合
の
図



春がくるのを楽しみに、今年も夫婦で参加しました。久留米眉間尺という椿を皮切りにくるめ源氏、紅麒麟、正義などたくさんの椿を見ました。その椿は公園や特別の場所ではなくて普通の人家にあり、また墓地にも植えられていて如何に生活に融け込んでいたのかを思わせます。樹齢200年を経たものがあり、住んでいる人たちの昔からの椿への思いが連綿と受け伝えられているのがわかります。耳納山麓歴史と文化の町、本当にぴったりの催しでした。サポートの方々も熱心なお話も楽しく、藤枝先生のアカデミックな話も興味深く聞きました。これからも毎年参加して椿の美しさを満喫し勉強したいと思っています。国際ツバキ会議の成功をお祈りします。(飯塚在住：篠崎晋輔)

今、SNKで、もっとも輝いている男 橋口哲男さん

本部事務局で、常に会員名簿・サーバーへのアドレスの登録内容や現金出納簿など、管理を徹底して完全に一致させている誠実作業の模範生で信頼は厚い。住まい：八女郡広川町 夫婦二人の生活、3人の子どもは関東に住む。



1940年4月生まれの典型的なA型人間です。「よく言えば几帳面で、悪く言えば融通が利かない」と本人は事務局の多忙な仕事を一手に引き受けて、時々反省している。趣味は多く、先ずは水泳。久留米市市民プールに毎日通って泳法のクロールを修業中。クロールのストロークはそれぞれエントリー、キャッチ、プル、プッシュ、リカバリーと分類され、極めればなかなか奥深い。月に二回はインストラクターから指導を受けており、1000メートル泳げるようになるのが夢！次は囲碁。西本新聞社主催の囲碁サークルに毎週一回通っていますが実力は一級くらい。SNK会員の上手からも教わりたい、と意気軒昂。(取材者：伴事務局)

教育指導助手とは、教室の先生の助手となり複数の子どもたちが問題にてこずり手を上げ「ここが分からない」とギブアップしたとき正しい解答へ導くこと。(毎回、事前の打ち合わせあり)

シニアのパワーを募集しています。子どもたちをもう少しだけ近くから見守り、みんな元気でのびのびと育つように願っています。私にできる社会貢献 チーム一同

教育支援活動 特集

ボランティアチーム

教育支援ボランティアの活動

SNK教育ボランティアチームリーダー 小島紀夫

ここ数年教育（特に義務教育）改革の必要性を指摘する声が高まっています。久留米市教育委員会は「次代の久留米を担う人間力を身につけた子どもの育成」を目標に「久留米市教育改革プラン」を策定し、特に地域社会と学校が連携した教育活動を展開することが有効であるとの見地から、1 昨年の 11 月に市教委からSNKにも要請がありました。

SNKとしても定款にある「子どもの健全な育成を図る活動」の一環として理事会の承認を得て「教育支援ボランティアチーム」を設立し、昨年 4 月から下記の内容で活動を開始しました。

支援小学校 当初は2校に限定し経験を積むことにしました。

イ、京町小 2年生、3年生の算数の支援

ロ、荘島小 4～6年生の「囲碁・将棋」のクラブ活動の支援

この1年間の支援活動は多くの事を教えてくれました。

また、学校の行事（授業参観や研究発表会等）への誘いもあり現在の学校運営について知ることが出来ました。

教育の現場は元気で素直な明るい子ども達と一生懸命な先生達がたくさんいて、それでも足りず、我々シニアの知識と経験とを待望していることです。

子ども達の輝く笑顔から元気で若さを貰い、先生方や子ども達から感謝されるこの教育支援活動は子ども達の成長と可能性を手助けする素晴らしい活動です。しかも誰にもどなたにでも出来る内容です。

チームメンバー 計16名(3月末現在)、担当理事 藤島

リーダー 小島

委員 今津、一ノ瀬

メンバー 黒岩、中村忠、酒見、庄山夫妻、中願寺、久保田、金子、江上、江口、松浦、田島、の各氏

支援の時間 両小学校（京町小・荘島小）とも

水曜日の午後：5校時（14時5分～）、6校時（14時55分～15時40分）

に集中し限定されたため参加できなかったメンバーもいますが、新年度の日程を入手し、検討の上みなさんの参加をお願いします。

(子どもたちを毎日見ている先生目)

ランドセルには教科書やノートのほか、子どもが抱える悩みや家庭のストレスなど、重い荷物もたくさん入っている。学校では楽しく勉強に向かい、友だちと遊び先生と話し、重い複雑な荷物を学校に置いて、ランドセルを軽くして帰る。



京町小学校全校生徒による「小さな親切運動」発表

『心温まるご支援ご協力ありがとうございます』 京町小学校校長 良永優理子

子ども達の健やかな成長のために、確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成に取り組んでいます。特に、確かな学力の定着の為には、基礎・基本の学力を確実に身に付けさせていかなければなりません。そのために、各学年に隔週1時間算数のチャレンジ学習をしています。このチャレンジ学習では、個に応じた習熟度別学習をしています。そこでは、子どもを少人数に分割して、担任と指導方法工夫改善担当教諭以外にSNKの皆様にも子ども達の指導に携わって頂くことができました。

学校の教諭だけでなく、SNKの皆様からも温かく優しく丁寧に教えて頂き、子ども達は大変親近感を覚えております。最近の子ども達は、少子化であり、核家族の中で育ってきていますので、他の人とのコミュニケーションが思うようにできない子どももいます。SNKの皆様方との温かい心の触れ合いを通して、子ども達が安心して穏やかに学ぶことができ、豊かな心の育成にもつながっています。

『知恵と心を学んでいます』

荘島小学校校長 信國寿敏

昨年度から貴会には、本校の教育活動へのご支援をいただいています。特に本年度からは、毎月2回ほど実施しているクラブ活動の「囲碁・将棋クラブ」の技術的なご指導をいただき、感謝申し上げます。

さて、クラブでは30名ほどの4年から6年生の児童に、囲碁・将棋の基礎から個々の児童の技量に応じた指導や助言をいただき、児童の囲碁・将棋に取り組む意欲や態度が増していることを大変うれしく思っています。この1年間を通して児童は、基石や駒の動かし方は分かっていましたが、一手一手の動かす意図や狙いなどを丁寧に教えていただくことで、多くの知恵を学び、また、囲碁・将棋への関心を益々高めています。技術的な面だけの関わりにとどまらず、互いが色々な話をする中で相手を思いやることや礼儀作法などを、自然な雰囲気の中でまなびとてきているように思います。是非、クラブ活動だけでなく、他の教育活動の場面でより多くのご支援をいただけるものと期待しています。

子どもたちが危ない、学習についていけない子をなくそう、と学習につまずく前に、つまずきそうな小学生の学習を側面から補助し支援する、子どもたちに希望の明日と豊かな笑顔をもって育てて欲しい、学習や地域文化のお助けマンチーム

【算数の時間】

黒岩龍男さん：最低でも読み書きソロバンが出来るようにして卒業させたいとの学校の意向に賛同して、京町小学校での2年生と3年生の算数のチャレンジ教室に、お助けマンとして参加して参りました。私の母校である京町小学校に少しでも恩返し出来る喜びと、生徒の皆さんが落ちこぼれなく卒業出来るようにお手伝いできれば嬉しいとの思いからです。

中村忠敏さん：チョットヒントを与えるとほとんどの子どもはすぐ出来るようになる。先生の日頃のご苦勞と指導の賜物と思う。特に女先生が熱心になっている気がしました。私はどの子どももみんな可愛い。教育支援に参加すると頭の体操になるし、フレッシュ感があり、今の指導方法が理解できました。

一ノ瀬尚文さん：教室は子供たちが騒々しく元気なので、あっという間に45分間は過ぎます。出来る子や出来ない子と色々ありますが、甘えたり拗ねたりを含め手のかかる子どもには家庭の影がさしている、ということ先生との対話の中で少しずつ理解してきました。みんなに遅れ未だ1枚目の計算用紙に向かっている子、取り残されてもなかなか集中できないでいる。お助けマンの出番です。

【囲碁・将棋の時間】

今津一躬さん：荘島小学校の部活「囲碁・将棋学習」で囲碁の指導を担当してきました。皆、始めたばかりで、ザル碁にも達していません。しかし、伝統的な難しいゲームである囲碁・将棋を部活として選択してくれたことが嬉しくて、少しでも楽しんでもらいたいと思っています。小学校を訪ねるのが楽しみです。

庄山正気さん：生徒の皆さん、想像以上に超初心者でいわゆる10級以上の子どもはいなかったように思います。まずは、興味を持たせ最小ルール教えることがポイントですが、教え方を担当の先生とよく話し合い、先生の参加も大事だと思われま。



囲碁の指導を楽しんでいる中村さんです。9路盤の小さな盤で戦い負けると悔しい。

京町小学校 2～3年生の算数は2桁の99と3桁の足し算、引き算です。新年度(2008.4月)から活動を継続します。

荘島小学校 4～6年生のクラブ活動、支援は楽しみながらやるのがポイントです。(囲碁・将棋は教える知識と経験が必要です)

